24 年度事務事業評価表(一般用) 部課コード 020200 Tel 2998-9027 事業コード 当 さわやかな市役所推進事業 政策企画課 020211 部 課 開始年度 平成 終了年度 平成 年度 グルーフ[°] 事務管理·行政改革G 年度 11 事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 分野別計画・指針 文化振興指針「もういちど見つめてところざわ」、第4次行政改革大綱 関連・類似事業 基本 総合計画の体系 章 行財政運営 節 情報公開と市民参加 行政サービスの向上に努めます മ 方針 平成8年3月に「所沢市文化振興指針」を策定し「さわやかな市役所づくり」への取組を開始した。そして、平成10年2月に「接遇に関する市民アン ケート」を実施し、結果として6割強の市民より「良い」「やや良い」との評価を頂いた。これを受け、更なる職員のスキルアップを目指し、平成11年 概 事業開始の背景 5月に「さわやか応対マニュアル」を作成し、窓口サービスの充実を図った。更に平成22年12月に、環境の変化による新しい課題へ対応するた 要 め「さわやか応対マニュアル[改訂版]」を発行した。 目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 市の窓口サービスを利用する市民の満足度の向上を図るため、窓口サービス向上にかかる取組を全庁的なものとして根付かせる。 対象(誰を、何を対象としているのか) 쿀 22 年度 2,599 平成 人 対象数 単位 全職員 平成 23 年度 2.574 人 業 事業の具体的な内容及び実施方法 の ・「さわやか応対マニュアル」の作成・改定を必要に応じ実施し、全職員での共通認識を図る。 内 ・庁内広報紙「K.A Times」で窓口サービス向上にかかる記事を掲載し、職員意識の啓発を図る。 ・本庁舎において、窓口利用者に対する満足度調査を実施する。 容 ≪会計種別≫ 一般会計 平成 22 年度 (千円) 平成 23 年度 (千円) 平成 年度 (千円) 24 当初予算 算 (見込み含む) ※「財源内訳」について 経 (非常勤特別職員) (臨時的任用職員) 人) 人) 人) 人) 平成24年度のみ、当初予算の内訳と 正規職員人件費 0.37 3.426 0.26 人 2,390 なっています。 2.390 事業費合計 3 426 費 一般財源 3.426 2,390 源 国·県支出金 内 その他(訳 項目名 単位 H 23 将来目標 計算方法 H 22 H24見込み 「K.A Times」記事掲載件数 2 0 「窓ロサービス」満足度アン 窓口に来られた際にアンケートに直接答 活動実績 人 342 292 300 300 ケート調査 えていただいた市民の人数 績 日煙値 95 90 90 90 窓口にかかるアンケートで「良い」「まあ % 成果指標 窓口満足度 まあ良い」と回答した割合(複数のアン 実 績 93.3 97.2 ☑「実績」の拡大を図る 成 ケートの合算による) □「実績」の縮小を図る 104 108 % 達成率 昨年度中に改善した点 「さわやか応対マニュアル(改定版)」の活用を依頼することにより、さわやか度チェックを用いた主体的な取り組みを全庁的に促した。 事業の活動(回数、範囲など) 拡大 縮小 現状維持 $\overline{}$ ☑ 継続 方今 向後事業の実施方法 評価 ✓ 改善•効率化 現状維持 その他(性の次年度予算 終了 増額 現状維持 減額 評価理由と今後の方向性(課題と対応) 6 評 「さわやかな市役所の推進」は引続き実施していくが、成果指標において目標値をクリアしているため、今後は「超親切な市役所」の実現に向けた新たな推進事業への 転換にむけ検討を進めていく。 事務改善ミーティングで示された意見とその対応 価 評価日 H24.5.31 評価者職氏名 主幹 加藤孝之) 原因活動(窓口満足度アンケート調査 原因活動(窓口サービス向上の意識啓発 規制を受ける 主な環境法令 () 行政サービスの向上 天然資源(森林・化石燃料)の減少 $\sqrt{}$ 環 等の名称 有益な 有害な 廃棄物の排出 $\overline{}$ 境 環境影響 環境影響 公害(大気汚染・騒音等)の発生 影 有害な影響を (重大なもの (重大なもの その他(与える緊急事) | | | には() には() 態の内容 その他(